

ERINA 中期計画

< 2004-2008 >

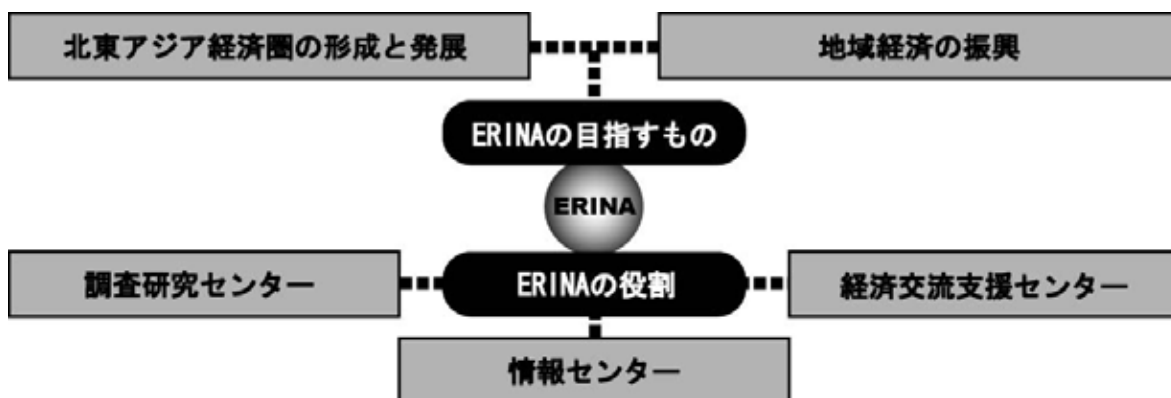


2004年3月

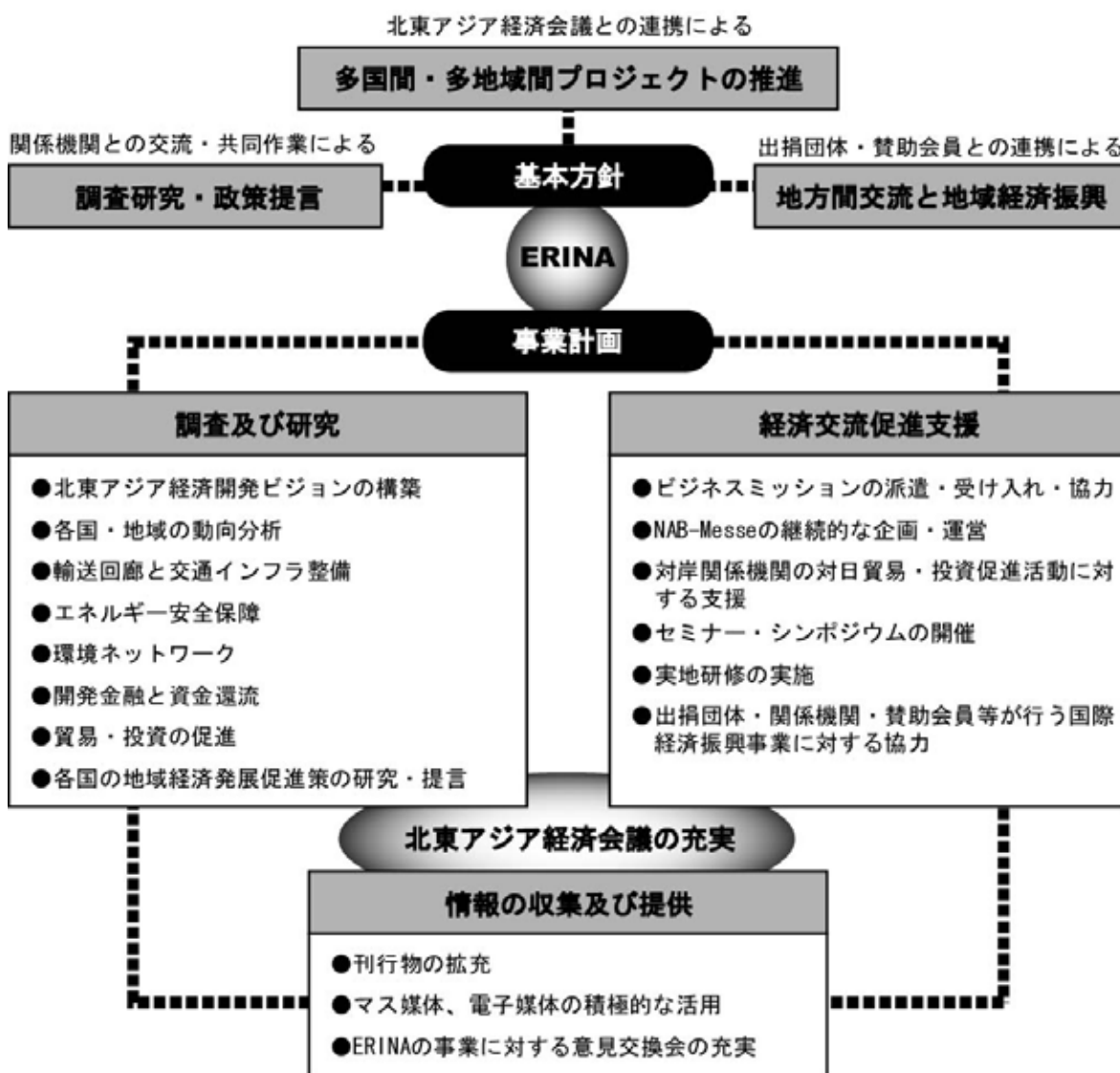
ERINA

財団法人環日本海経済研究所

《目次》	中期計画 < 2004-2008 > のあらまし	3
	はじめに	4
	（1）ERINA のこれまでの 10 年	
	（2）ERINA の目指すもの	
	（3）ERINA の役割	
	中期計画 < 2004-2008 >	6
	1 計画の期間	6
	2 基本方針	6
	3 事業計画	6
	（1）調査及び研究	
	（2）経済交流促進支援	
	（3）情報の収集及び提供	
	（4）北東アジア経済会議の充実	
	4 組織及び管理運営について	10
	（1）総務部	
	（2）調査研究部	
	（3）経済交流部	
	（4）広報・企画部	
	5 財務について	12
	（1）財源見通し	
	（2）自主財源の確保	
	（3）基本財産の安全かつ効率的な運用	
	（4）効率的な予算執行	



中期計画<2004-2008>のあらまし



はじめに

(1) ERINA のこれまでの 10 年

ERINA は、1993 年 10 月に誕生して今年で 10 年という節目を迎えました。この間、ERINA は北東アジア地域の経済に関する情報・研究・交流のシンク・アンド・ドゥタンクとして、次のような役割を果たしてきました。

北東アジア経済圏形成の促進に向け、同地域における貿易・投資、運輸・物流、環境・エネルギーなどのテーマの研究を組織的に進め、同地域の経済に関する情報の受発信に努めてきました。

北東アジア経済会議の組織と運営に取組み、その結果を内外にアピールし、ビジネス機会の提供などを通じて我が国と同地域との経済交流の発展に努めてきました。

内外の組織・個人との間の共同研究や研究交流、共同事業等を組織することによって、人的・知的交流の広範かつ有益な国際ネットワークを築いてきました。

価値観が激変した冷戦終了後の世界において、いまだに冷戦構造を抱え、経済交流分野で障害が残る北東アジアの各国政府や NGO、国際機関等に対して、北東アジアの持つ潜在力と多国間の協力の可能性について強く訴え、北東アジア経済圏という概念の醸成を図ることに寄与しました。

この間に我が国の経済、世界の情勢が大きく変化し、北東アジアが注目される中で、ERINA は限られた人的・財的資源の下で、新しい情勢に対応した方針と体制づくりが求められています。このような要請に基づいて、この中期計画を立案いたします。

(2) ERINA の目指すもの

世界の情勢が大きく変化していく中で、北東アジアの果す役割がますます重要になってきています。

高度成長を続ける中国、金融危機を乗り越え経済回復を果たしつつある韓国、10 年間の低迷を脱して市場経済が定着しつつあるロシアとモンゴル、厳しい情勢のもとで市場経済化への微妙な動きが感じられる北朝鮮、など北東アジアの国々での経済面での躍動が刻々と伝わってきます。

しかも政治と安全保障の面で、北朝鮮の核開発を巡り 6 カ国協議の枠組みが成立し、会談が継続されています。この問題の解決は北東アジアの安定をもたらし、経済協力を新しい展望を開きます。また一方で、ASEAN+3 が東アジアを動かす原動力となっており、日本、韓国、中国など北東アジアを構成する国々が、大きな役割を果たしています。

ERINA の目指すところは、このような情勢変化を的確につかみ、各国経済及び関係諸国間の貿易・経済協力に関する調査・分析・研究・政策提言を行なうとともに、北東アジア各国・地域間の経済交流の促進を図ることにより、地域経済の振興並びに北東アジア経済圏の形成と発展に寄与することにあります。

(3) ERINA の役割

ERINA は、その目指すところを達成するために次のような機能を持ちます。

北東アジアの経済に関する調査研究センターとしての機能

- i) 北東アジアの基礎的経済統計の体系的な収集と分析
- ii) 北東アジアの経済振興に関する政策提言
- iii) 北東アジア経済圏の樹立に向けた戦略の研究及び提言
- iv) 関係研究機関との共同研究

北東アジア各国・地域間の経済交流支援センターとしての機能

- i) 我が国と北東アジア各国・地域との経済交流支援
- ii) 地域間・多国間の協力体制によるプロジェクトの推進
- iii) 国内外の関係機関等との協力

北東アジアの経済に関する情報センターとしての機能

- i) 北東アジア経済に関する各種情報の収集・蓄積
- ii) その生の情報と分析結果の発信

中期計画 < 2004-2008 >

ERINA は、その目的を達成するため、当面する活動の基本方針と事業計画、組織及び管理運営、財務について中期計画を、以下のように策定します。

1 計画の期間

本計画の期間は、2004 年度から 2008 年度までの 5 カ年とします。
各年度にはこの中期計画に基づいた事業計画を作成し、その具体化を図ります。

2 基本方針

北東アジア経済会議との連携のもとに、テーマごとに国際協力の枠組みを構築し、多国間・多地域間プロジェクトの推進を図ります。

国内外の関係研究機関との人的交流、研究交流を促進し、共同作業による調査研究・政策提言を行います。

出捐団体・賛助会員との連携を緊密にし、地方間交流と地域経済の振興に寄与します。

3 事業計画

(1) 調査及び研究

北東アジア経済開発ビジョンの構築

各国の中央及び地方政府、研究機関、民間、NGO 等との共同作業により、局地経済圏としての北東アジアの総合的な経済開発ビジョンの構築を図り、北東アジアの経済開発プロジェクトの形成及びその事業化等の提案を行います。

これについては最重点課題として取り組みます。

調査及び分析

- i) 北東アジア各国・地域の動向分析
- ii) 特定地域の貿易・物流等に関する市場調査
- iii) マクロ経済の調査・分析
- iv) 経済統計の収集と分析手法の確立

北東アジア各国・各地域経済に関する基礎的な各種の統計資料、研究情報、マスコミ情報等の継続的、体系的な収集と蓄積によって各種データベースの充実を図るとともに、その分析手法を確立し、この地域の研究・提言並びに経済交流活動において利活用を図ります。

テーマ別多国間・多地域間協力の研究・提言

- i) 輸送回廊と交通インフラ整備

北東アジア経済会議組織委員会運輸・物流常設分科会において特定された北東アジア輸送回廊が「貿易回廊」、「経済回廊」としての機能を果たすため、シベリア鉄道ルートや図們江ルート等の整備・改善を促し、不連続点の改善等整備すべきプロジェクトの優先順位付けを進め、具体的な提言を行いません。

図們江地域開発と結びつけた取り組みとして、第2段階（実施計画の検討）に入ります。

- ii) エネルギー安全保障

北東アジア各国のエネルギー利用とその安定的供給、開発と繁栄、環境の安全性の確保、とりわけロシアの石油・天然ガスの開発と輸送が北東アジアに及ぼす影響について、米国、北東アジア各国の専門家と共同で検討を進めてきた「北東アジアにおけるエネルギー安全保障プロジェクト」については、今後、エネルギー共同体等各国の協力の枠組み構築や政策協調に向けたビジョンについて引き続き研究・提言を行います。

このテーマも、第2段階（実施計画の検討）の作業に入ります。

- iii) 北東アジア環境ネットワーク

北東アジア地域各国の経済発展と環境保全の両立を図るために、環境問題の現状と課題を明確にし、そのために定常的に情報交換を行うラウンドテーブルを設置して、各国の関係機関で構成する「北東アジア環境ネットワーク」の形成を図ります。

2004年の重点事業として取り組みます。

- iv) 北東アジアの開発金融と資金還流

インフラ整備等の大きな資金需要をまかなうために、マクロ的な国際金融システムの枠組みを研究するとともに、輸送回廊や図們江地域開発等の優先的プロジェクトの実施に当たって、いくつかの国際協力資金を有機的に結びつけるなど、具体的なプロジェクトファイナンスの研究・提言を行います。

- v) 貿易・投資の促進

北東アジア各国・地域・主要開発区域における貿易・投資環境に関する調査、北東アジア諸国の日本への投資の可能性について研究を進めます。その中でとくに日本の地方

産業、中小企業との貿易・投資促進による相互メリットの創出について検討を進めます。

また、北東アジア各国間における自由貿易協定締結を重視し、その今後の展望と影響に関する研究を進めます。

vi) 観光開発と観光産業の進展

貿易の促進を促すのは物流と人流との認識のもと、北東アジア各国・各地域の自然・歴史・文化的観光ルートの開発及び克服すべき障害について関係地方政府・団体との協力により研究を進めます。また観光産業の人材育成・ノウハウ支援等について、提言を行いません。

vii) 図們江地域開発

当事国地域内あるいは二国間協力によるインフラ整備を中心に進められている図們江地域開発において、新しいプロジェクトの形成と枠組み構築、国境通過交通網の整備、貿易・投資・観光促進のための共通の制度・環境整備などの研究・提言を行います。

各国の地域経済発展促進策の研究・提言

i) 各国の地域経済・産業課題

ロシア極東・東シベリアにおけるエネルギー開発、中国東北地区における「東北振興」政策、韓国・モンゴルの対外経済政策、北朝鮮経済の対外開放政策等、各国の経済・産業課題の研究を進め、日本の地方経済・産業との関連を明確にします。

ii) 日本の地方経済振興の研究・提言

日本海沿岸地方の産業構造をベースにした、投資誘致、貿易促進、日本海コンテナ航路・フェリー航路・空路の開設、インパウンド観光の促進とその経済効果について研究・提言します。とりわけ東北振興を重視して取り組みます。

内外関係研究機関との研究交流

i) 内外関係機関との共同・委託研究の拡大

研究協定や共同・委託研究、セミナー・ワークショップ、産学協同研究など、研究機関・大学・NPO その他内外の関係機関とのネットワークを強化し、調査・研究事業の充実を図ります。

ii) 相互研修、研究員の交換

ERINA と内外研究機関との相互研修、研究員の交換等の充実を図り、インターンシップ、客員研究員等、相互知的交流の制度を確立します。

(2) 経済交流促進支援

ビジネスミッションの派遣・受け入れ及び協力

北東アジアにおける企業の経済交流活動を促進するため、ビジネスミッションの派遣・派遣協力を出捐団体等と協力して行うとともに、対岸各国からのビジネスミッショ

ンの受け入れ・受け入れ協力を行います。

NAB-Messe の継続的な企画・運営

北東アジア多国間・多地域間の展示商談会である北東アジア・ビジネスメッセ（NAB-Messe）の定期的な開催を企画・運営し、ビジネス機会の創出を推進し、北東アジアにおける企業交流の拡充を図ります。

対岸関係機関の対日貿易・投資促進活動に対する支援

対岸各国からのビジネスミッションや在日企業・機関等の対日貿易・投資促進活動に協力するとともに、ロシア極東・東シベリア、中国東北部との中小ビジネスネットワークの構築、インターネット上の企業情報紹介などを通じて、日本側地方産業との国際ビジネス・マッチングを促進します。

セミナー、シンポジウム等の開催

i) 実地研修の実施

地場産業の国際化ニーズ等に対応しながら、対岸からの研修生受け入れの実施及び協力、対岸への研修生の派遣及び協力を行い、相互の人材育成と技術交流を進めます。

ii) 出捐自治体以外でのセミナー、シンポジウムの開催

中央や地方に向けて北東アジアの情報の発信、啓蒙及び政策提言等を行い、北東アジア経済圏への広い理解と深い関心を呼び起こすため、出捐自治体以外でのセミナー、シンポジウムを開催します。

iii) 地域セミナー、賛助会セミナーの開催

出捐自治体に対する研究成果の還元や情報提供を行い、一般の関心や理解を高める地域セミナー、及び賛助会員を対象として北東アジアの経済事情や地域情勢の情報を提供する賛助会セミナーを開催します。

出捐団体・関係機関・賛助会員等が行う国際経済振興事業に対する協力

(3) 情報の収集及び提供

刊行物の拡充

専門的な調査・研究、経済情報を掲載する ERINA REPORT、企業向けの貿易・投資動向等を掲載する ERINA BUSINESS NEWS、調査・研究成果を重点的にとりまとめた ERINA booklet、ディスカッション・ペーパーの各情報誌の特徴を生かし、提供情報のより一層の充実に努めます。

あわせて、北東アジア経済白書の毎年次発行、英文の白書出版、ERINA 活動年報の発行について検討し、新規事業として初年度の立ち上げを目指します。

マス媒体、電子媒体の積極的な活用

プレス発表・情報提供などを通じたマスコミとの情報交換を活発に行い、ホームページ情報を充実するなど、事業成果を積極的にアピールするとともに、更なる充実を図ります。

ERINA の事業に対する意見交換会の充実

運営協議会、賛助会員との意見交換会等を充実し、その結果を ERINA の年次事業の計画と実行及び中期計画の見直しなどに反映させます。これまでの取り組みを一層強化します。

(4) 北東アジア経済会議の充実

ERINA の調査研究センターとしての機能を高め、北東アジア経済会議の活動と結合させることによって、経済会議の機能の充実を図り、経済会議で取り組んでいる貿易・投資、運輸・物流、環境・エネルギー、開発金融、多国間協力などの内容をより具体的で実際的なものにします。

また、北東アジア経済会議組織委員会が各テーマのフェージビリティ・スタディから実施計画に至る調整機能を果たせるよう、ERINA は同組織委員会の事務局としてバックアップします。

4 組織及び管理運営について

組織の運営では、組織の管理系統と横断的な組織を結合させ、各研究員がそれぞれ複数の機能を担うマトリックス的運営を行い、その実態に見合った組織の見直しを進め、実践的な研究所としての能力強化を図ります。具体的な組織改正は、今後逐次庶務規定の改正により実施します。

ここでは各部の基本的な機能と当面する制度上の問題に触れます。

(1) 総務部

分課分掌の明確化

中期計画の実行に伴い、庶務規程、就業規則、決裁・意思決定プロセス等を再点検して分掌の明確化を図るとともに、全体的にバランスの取れた運営体制を目指します。

また、客員研究員・研修生（インターン）の受け入れ・派遣・交換、出捐団体等からの出向者受け入れ等についての計画的な運用や、在外客員研究員の制度化など、機能的

な職員構成のあり方を引き続き検討します。

PC 環境等の整備

広報・企画部と協力し ERINA の PC 環境の整備、セキュリティの管理を進めます。

海外客員研究員受け入れに伴う生活環境の整備

頻繁に行われる海外客員研究員の受け入れ・交替に対応し、海外職員の職場環境、居住環境を整備し、生活指導を行います。

事業評価制度の導入

評価基準づくりをはじめとする事業評価システムの構築や人事考課制度の導入について引き続き検討します。

(2) 調査研究部

調査・研究体制の整備

中期計画及び各年度の事業計画に基づき、また内部評価をフィードバックすることにより、研究目標・研究テーマの明確化と予算配分の適正化を図ります。さらに、調査・研究内容についての内部検討体制の充実により、成果物の質的向上と研究職各自の能力開発を図ります。

調査研究成果物の内外情報発信機能強化

助成研究、受託研究、共同研究に積極的に対応し、学会発表、講演、寄稿を奨励します。調査・研究・政策提言等の対外的な活動を活発化するとともに、その成果の情報公開を進め、調査研究成果物の情報発信機能を強化します。

(3) 経済交流部

総合的な経済交流支援窓口

出捐団体・関係機関、賛助会員及び対岸地域の自治体・関係機関等との情報交換を一層活発にして、重層的な経済交流ネットワークを構築し、域内の経済交流活動を支援する総合的な窓口機能を果たします。あわせて、各自治体で取り組んでいる先導的な地域交流のモデル事業を積極的に支援し、普及します。

(4) 広報・企画部

新規事業の企画・開発

ERINA の活動データ集積・一元化

ERINA の事業成果をデータベース化し、情報誌、出版物等を一元管理・集積するなど、広報活動の基礎づくりを固めます。

総務部と協力して ERINA の PC 環境の整備、セキュリティの管理を進めます。

情報交換媒体の多様化と情報ハブ機能の強化

ホームページや各種メディアを積極的に活用しながら、情報の交換、情報アクセスの向上を図ることによって、情報交換媒体の多様化を図るとともに、ERINA 内外を結ぶ情報ハブ機能を強化します。

中期計画の調整機能

5 財務について

(1) 財源見通し

経済全般の厳しい情勢に鑑み、ERINA の主要な収入である基本財産運用収入並びに地方公共団体補助金収入については、計画開始の前年度（平成 15 年度）の水準を原則として組織の運営を図ります。但し、計画期間の中間において財政規模の見直しを行います。

(2) 自主財源の確保

受託、助成事業等の推進

関係機関等との連携強化を図り、そうした機関等からの助成事業、受託事業の積極拡大、受注に努めます。

基本財産等の充実

新たな出損団体の拡大に向け、調査研究事業並びに経済交流の効果的な推進を図るとともに、その成果について広報の充実に努め、基本財産など運用し得る財産の増額を目指します。

賛助会員等の拡大

会員向け事業の充実など会員拡大活動の強化を図り、賛助会員、購読会員、インターネット会員の拡大を図ります。

(3) 基本財産の安全かつ効率的な運用

基本財産の運用に当っては、財産の安全確実を図る一方、金融の超低金利時代に対応して効率的な運用を図ります。

(4) 効率的な予算執行

主要な財源収入は厳しいとの認識の下、年間支出予算の編成及び執行にあたっては、節減に鋭意努めるとともに効率的な予算執行を図り、事業が最少経費で最大効果を上げるように努め、事業計画の達成を図ります。

参考1 財団法人環日本海経済研究所寄附行為第3条(目的)

本財団は、環日本海地域(日本海沿岸及びその周辺の地域をいう。以下同じ。)の経済に関する情報の収集及び提供、調査及び研究等を行うことにより、我が国と同地域との経済交流を促進し、もって環日本海経済圏の形成と発展に寄与するとともに、国際社会に貢献することを目的とする。

参考2 財団法人環日本海経済研究所寄附行為第4条(事業)

本財団は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 環日本海地域の経済に関する情報の収集及び提供
- (2) 環日本海地域の経済に関する調査及び研究
- (3) 環日本海地域の経済に関するセミナー、シンポジウム等の開催
- (4) 環日本海地域の経済に関する内外関係機関等との交流及び協力
- (5) 全各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

参考3 ERINAの組織図

